


## ～施設アンケート等結果速報値の報告及び 統計データや速報値から見える課題～

### アンケート概要

種別	対象	回答方法	期間	回答数
施設アンケート	認可保育施設、認可外保育施設、幼稚園	回答票 (Excel) を電子メールで送付	R3. 3. 8～R3. 3. 24	125
保育者アンケート	上記施設の保育・幼児教育従事者	簡単電子申請	R3. 3. 8～R3. 3. 24	401
保護者アンケート	上記施設の保護者	簡単電子申請	R3. 3. 1～R3. 3. 19	2,516

### 施設アンケート

- 保育者の確保や保育者の資質の維持・向上を施設運営上の課題と感じている施設が多い (P4)
- コロナウイルス感染症の流行に伴い、新たに多くの課題が発生した (P5)
- 多くの施設が保育所保育指針等の内容について施設内で共通認識を図り、振り返りの機会も持っている (P6)
- のびのびと遊ぶことを重視している施設が多く、保護者の希望とも一致している (P7)
- 保育・幼児教育の質の向上のために、保育者の専門職としての知識・技術の向上が必要だと思っている施設が多い (P10)
- 90%以上の施設で年に複数回の保育者研修を実施している (P11)
- 約 80%の施設において、障がいのある児童や特別な支援を要する児童の受け入れ人数が増加傾向にあると感じている (P16・18)
- 約 80%の施設で入所児童の保護者に対する子育て相談や情報提供を実施しており (P20)、入所児童以外の保護者に対しても約 40%の施設で実施している (P23)
- 約 70%の施設において、特別な支援が必要と思われる保護者の人数が増加傾向にあると感じている (P26)



保育者の確保及び適正配置、保育者の資質の維持・向上、障がいのある児童や特別な支援を要する児童・保護者に対する支援、さらにはコロナ禍のような非常災害時の対応等について検討していく必要がある。

## 保育者アンケート

---

- 就業4年目以下の保育者が半数を超えている (P3)
- 給与面の処遇に対する回答が多く (P8・9)、生活者として正規雇用であるか仕事量や責任に見合った待遇であるかを重視して就業先を選択している (P4)
- 90%以上の保育者が、保育所保育指針などの内容を理解し (P10)、やりがいをもって保育・幼児教育業務をおこなっている (P6)
- 80%以上の保育者が、保育・幼児教育の質の向上のためには、保育者の専門職としての知識・技術の向上が必要であると考え (P14)、研修を受講する意欲がある (P15)
- 乳幼児の成長・発達、障がい児や特別な支援を要する児童に対する知識や技術の習得が必要だと思っている保育者が多い (P16)



保育者のやりがいや専門的知識を高める研修機会の確保や、保育者の定着率向上を図る方策について検討していく必要がある。

## 保護者アンケート

---

- 約40%の保護者が、早朝 (P2) や日曜・祝日にも保育を希望している (P5)
- 約80%の保護者が、第一希望の施設に児童を預けることができた (P6)
- 家や職場に近いという地理的要因から施設を選択している保護者が多い (P7)
- のびのびと遊ぶことを重視している保護者が多く、施設の方針とも一致している (P9)
- 施設利用中に体調不良になった場合の病児保育を希望している保護者が半数を超えている (P12)
- 現在通っている施設に満足している保護者が多い (P13)



保護者ニーズに適合する施設配置や、病児保育や日曜・祝日等の保育ニーズへの対応策について検討していく必要がある。

## 統計データ

---

- 人口減少と高齢化が進み (P1-3)、未就学児童数は減少していく (P6)
- 地区により年齢ごとの構成比にばらつきがある (P5)
- 女性の就業率が上昇し、共働き世帯が増える (P8)
- 人口減少による税収の減少及び高齢化に伴う社会保障費の増加で財政状況は厳しくなる (P11-13)



保育・幼児教育の需給バランスが、需要超過から供給超過へ転換することが想定され、財政状況の悪化も見込まれることから、施設の最適配置について検討していく必要がある。